

<b>課題解決型研究プログラム 自然共生研究プログラム</b>
---------------------------------

<b>委員会からの主要意見</b>
-------------------

現状についての評価・質問等
---------------

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○愛知目標や SDGs への対応を視野に入れ、生物多様性損失評価および影響対策についてよく構築された研究プログラムである。昨年度の委員会意見に対応して事業が進められている点も評価できる。</li> <li>○外来生物防除対策に関して、基礎研究から社会実装まで迅速に進めた研究体制を高く評価する。</li> <li>○研究プログラムの成果をいかに社会にインプット/実現するか方針が示されるとよい。</li> </ul> |
|---|

今後への期待など
----------

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○人口減少に伴う生態系の変化に関する研究は重要である。今後、生態系サービスの影響評価へ展開が進むと、国土保全の観点からも大きな貢献が期待できる。</li> <li>○ヒアリ侵入への緊急対応事例をいかし、他の危険種にも備えるなど一層の政策貢献を期待する。</li> <li>○植物の環境応答など実験室の成果に基づいて気候変動の影響評価を検証する試みは重要である。モデルの不確実性や評価の妥当性も検討されるとよい。気候変動適応策への貢献も期待する。</li> </ul> |
|--|

<b>主要意見に対する国環研の考え方</b>
------------------------

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>①ヒアリなどの外来種対応を評価していただきありがとうございます。現在、各地方の自治体、研究機関、ペストコントロール業者と協議会を設立し、技術提供や情報共有を図るネットワークを構築しております。地方で得られたデータをもとに国環研が解析・司令センターとして、的確な防除計画を構築して配信し、全国レベルでの防除の連携と強化を図る体制を整えています。引き続き、ヒアリ対策のみならず、侵略的外来種に関する防除の研究と社会実装を進めて参ります。</li> <li>②人口減少に伴う生態系の変化に関しては、複数の分類群について生物種の特性と無居住化影響の関係の分析を行っており、その成果と広域的な生物分布情報を活用することで都市域を含む面的な生物多様性影響の評価が可能になります。また、生態系サービスの影響評価として、人口減少に伴う将来の土地利用パターン予測とそれにもとづいた供給サービスのポテンシャル評価を行うことを検討しています。</li> </ul> |
|--|